

第6回 JMC 海事振興セミナー

「グローバルサプライチェーンの強靱化に向けた国際海運・物流の課題と将来展望」

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、日本海事センターにおいて、「グローバルサプライチェーンの強靱化に向けた国際海運・物流の課題と将来展望」と題し、第6回 JMC 海事振興セミナーを開催いたします。

皆様におかれましては、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時：2023年5月10日（水） 14:00～16:30

開催方法：ハイブリッド形式（Zoom ウェビナー併用）

場所：海事センタービル4階会議室（東京都千代田区麹町4-5）

概要

新型コロナウイルス感染症のパンデミックに伴いグローバルサプライチェーンが大きな混乱に見舞われる中、世界中の企業関係者が供給体制の再構築を迫られている。特に、海上コンテナ輸送を中心とした国際物流の強靱化・持続可能性の追求は、海上コンテナ輸送の遅延や運賃の上昇、さらにはロシアのウクライナ侵攻などの状況を受けて、海運・物流関係者にとって喫緊の課題となっている。

このため、船社・港湾・荷主・フォワーダー等の有識者・専門家に集まって頂き、エンドツーエンドの国際複合一貫輸送サービスの課題と将来展望について、最新の動向の情報共有とともに意見交換を行うこととしたい。

- 14:00 【開会挨拶】 (公財) 日本海事センター 会長 宿利 正史
-
- 14:05 「グローバルサプライチェーンの強靱化に向けた日本の海上コンテナ輸送と国際物流の課題」
関西大学 商学部 教授 飴野 仁子 氏
-
- 14:25 「フォワーダーの国際物流戦略と海上コンテナ輸送」
NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社
グローバル事業本部海運フォワーディング部 部長 犬井 健人 氏
-
- 14:45 「サプライチェーンの強靱化に向けた今後の論点」
A.P. モラー・マースク 公共政策・規制担当本部 駐日代表 山本 航平 氏
-
- 15:05 「サプライチェーンの強靱化における国際コンテナ戦略港湾の役割と取組」
横浜川崎国際港湾株式会社 代表取締役社長 人見 伸也 氏
-
- 15:25 「中欧班列から見る中国の国際複合輸送の動向と日本が学ぶべき取組み」
(公財) 日本海事センター 企画研究部 客員研究員 福山 秀夫
-
- 15:45 【パネルディスカッション】 モデレーター：流通経済大学 流通情報学部長 教授
物流科学研究所所長 矢野 裕児 氏
パネリスト： 犬井 健人 氏、山本 航平 氏、人見 伸也 氏
-
- 16:30 【閉会挨拶】 (公財) 日本海事センター 常務理事 下野 元也

参加費：無料

お申込み：下記 URL 又は QR コードよりお申込みください。(HP からもお申込みいただけます)

<https://www.jpmac.or.jp/application/S696731/> (申込期限：5月8日(月)まで)

◆お申し込みいただいた方には、後日、視聴用 URL をご送付いたします。

※本セミナーのプログラム、講演者、時間等は予告なく変更されることがあります。



お問合せ：公益財団法人 日本海事センター企画研究部
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル8階
TEL:03-3263-9421 FAX:03-3264-5565

E-mail: jmcseminar@jpmac.or.jp HP: <https://www.jpmac.or.jp/>

【講演者略歴】

関西大学 商学部 教授 ^{あめの ひろこ} 飴野 仁子 氏

2003年 東海大学海洋学部特任講師、2004年 西南学院大学商学部専任講師、2005年 助教授を経て、2007年 関西大学商学部准教授、2012年より現職。博士（商学）。専門分野：ロジスティクス、物流。国土交通省交通政策審議会港湾分科会委員、大阪地方労働審議会港湾労働部会委員、北九州市地方港湾審議会委員。日本物流学会理事、日本港湾経済学会理事。



NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社

グローバル事業本部海運フォワーディング部 部長 ^{いぬい たけひと} 犬井 健人 氏

1986年4月 日本通運株式会社入社
 1995年1月 カナダ日本通運有限会社勤務
 2001年1月 日本通運株式会社 東京国際輸送支店課長
 2005年1月 フランス日本通運有限会社勤務
 2012年1月 日本通運株式会社 横浜国際輸送支店次長
 2017年5月 日本通運株式会社 海外事業本部 グローバルフォワーディング企画部長
 2019年4月 日本通運株式会社 大阪国際輸送支店長
 2022年7月 NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社 海運フォワーディング部長



A.P. モラー・マースク 公共政策・規制担当本部 駐日代表 ^{やまもと こうへい} 山本 航平 氏

上智大学外国語学部を卒業後、13年4月マースク入社。15年極東アジア地域アフリカ航路収益管理課長、18年北東アジア地区社長室長、20年アジア太平洋地域事業統合責任者、21年日本支社公共政策部長。23年2月から現職。



横浜川崎国際港湾株式会社 代表取締役社長 ^{ひとみ しんや} 人見 伸也 氏

1984年4月 日本郵船株式会社 入社
 1995年4月 NYK Line (HongKong) Manager
 2005年4月 NYK Line (Italy) President & Chairman
 2011年4月 同 秘書グループ長
 2013年4月 同 港湾国内グループ長
 2014年11月 同 港湾グループ長
 2016年4月 同 タンカーグループ長
 2018年4月 同 経営委員
 2020年6月 同 執行役員
 2021年1月 横浜川崎国際港湾株式会社 取締役
 2021年2月 同 代表取締役社長（現任）



流通経済大学 流通情報学部長 教授 物流科学研究所所長 ^{やの ゆうじ} 矢野 裕児 氏

横浜国立大学工学部、大学院、日本大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。工学博士。日通総合研究所、富士総合研究所を経て、現在に至る。専門分野はロジスティクス、物流。主な著書「物流論」「現代ロジスティクス論」中央経済社。



(公財) 日本海事センター企画研究部 客員研究員 ^{ふくやま ひでお} 福山 秀夫 氏

1980年九州大学卒業、同年 山下新日本汽船入社、1991年日本郵船に移籍、2004年日本郵船北京事務所代表、中国における定期コンテナ船輸送等に関り、2005年中国物流研究会という任意の会に入会し、本格的に中国物流の研究を開始。現在も研究を継続中、2014年九州の日本郵船の関連会社(株)ジェネックで港湾物流業を経験し、九州地域・北東アジア地域・東南アジア地域における海運業と物流業を研究した。2020年日本郵船退職、同年（公財）日本海事センター客員研究員、日本海運経済学会、日本港湾経済学会、日本物流学会、日本貿易学会会員

